

平成29年度決算に係る

定期監査調書

平成30年4月

公文書館

目 次

| | | |
|----|--|-----|
| 1 | 前年度指摘事項等に対する措置等 | 1頁 |
| | (1) 指摘事項 | |
| | (2) 監査意見 | |
| 2 | 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 | 1頁 |
| 3 | 組織及び業務調べ | 1頁 |
| 4 | 職員の定員、現員調べ | 2頁 |
| 5 | 役付職員の調べ | 2頁 |
| 6 | 主な事業に関する調べ | 3頁 |
| 7 | 収入証紙取扱額調べ | 13頁 |
| 8 | 収入事務処理状況調べ | 13頁 |
| | (1) 分担金及び負担金 | |
| | (2) 使用料 | |
| | (3) 手数料 | |
| | (4) 財産収入 | |
| | (5) 諸収入 | |
| | (6) 現金の取扱状況 | |
| 9 | 収入未済額調べ | 14頁 |
| 10 | 未収金回収促進のための取り組み状況調べ | 14頁 |
| 11 | 不納欠損額調べ | 14頁 |
| 12 | 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ | 14頁 |
| | (1) 負担金 | |
| | (2) 補助金 | |
| | (3) 交付金 | |
| | (4) 委託料 | |
| 13 | 工事請負費調べ | 16頁 |
| 14 | 財産に関する調べ | 16頁 |
| | (1) 公有財産 | |
| | (2) 金券類の受払状況 | |
| 15 | 財産の貸付及び使用許可調べ | 18頁 |
| | (1) 土地及び建物 | |
| | (2) 物品 | |
| 16 | 借受不動産明細調べ | 19頁 |
| 17 | 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ | 19頁 |
| | (1) 職員住宅 | |
| | (2) 職員駐車場 | |
| 18 | 寄附物件の受納状況調べ | 19頁 |
| 19 | 備品の処分状況調べ | 19頁 |
| 20 | 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ | 19頁 |
| | (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ | |
| | (2) 物品の照合 | |
| ○ | 意見・要望等 | 20頁 |

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

| 課 名 | 係（担当）名 | 課 の 主 な 所 掌 事 務 |
|------|--------|--|
| 公文書館 | 公文書担当 | ○公文書等の収集、整理及び保存に関すること。 ○公文書等の閲覧、展示その他の利用に関すること。 ○公文書等に関する調査研究に関すること。 ○県の施策その他の県政に関する情報の提供に関すること。 ○県市町村が連携した公文書等の保存活用に関すること |
| | 県史編さん室 | ○県史編さんに関すること。 |

4 職員の定員、現員調べ

(平成30年4月1日現在)

| 区分 | 事務職員 | | 技術職員 | | 現業職員 | | 計 | | 備 考 |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------|
| | 30.4.1 現 在 | 29.4.1 現 在 | 30.4.1 現 在 | 29.4.1 現 在 | 30.4.1 現 在 | 29.4.1 現 在 | 30.4.1 現 在 | 29.4.1 現 在 | |
| 定 員 | 10 | 11 | | | | | 10 | 11 | |
| 現 員 | (1) 11 | (0) 11 | | | | | (1) 11 | (0) 11 | 育休1定数外 |
| 過不足(△) | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | |
| 臨 時 職 員 | | | | | | | 0 | 0 | |
| 非常勤職員 | 12 | 11 | | | | | 12 | 11 | 特別職8、一般職4 |

5 役付職員の調べ

(平成30年4月1日現在)

| 職 名 | 氏 名 | 在 職 期 間 | | 備 考 |
|---------|-------|---------|---|-------|
| | | 年 | 月 | |
| 公文書館長 | 田中 健一 | 2 | 0 | |
| 課長補佐 | 津村 真二 | 1 | 9 | 出納員 |
| 課長補佐 | 田貝 隆 | 0 | 0 | |
| 県史編さん室長 | 岡村 吉彦 | 6 | 0 | 通算12年 |
| 課長補佐 | 西村 芳将 | 3 | 5 | |

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

| 事業名 | 決算(見込)額 | 財源内訳 | | |
|---|---------|---|------|-------|
| | | 国庫支出金 | その他 | 一般財源 |
| 公文書館センター機能強化・充実事業 | 3,670 | | 9 | 3,661 |
| 鳥取元気プロジェクト | | | | |
| 元気づくり総合戦略 | | | | |
| (概要) | | | | |
| ア 目的及び事業の実施状況 | | | | |
| (ア) 目的 | | | | |
| <p>全国初となる「鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例」に基づき、歴史的に重要な公文書等のより一層適切な保存管理に向けた取組を進めるため、公文書館が中心となって県と市町村との連携・協力体制を構築するとともに、公文書館の所蔵資料のより積極的な利活用などの取組を進める。</p> | | | | |
| (イ) 事業の実施状況 | | | | |
| ○県市町村歴史公文書等保存活用共同会議 | | | | |
| 区分 | 開催日 | 内容 | 参加人数 | |
| 第1回共同会議 | 4月25日 | 共同会議設立。部会(現用文書部会、評価選別部会)の設置、共同会議の取組内容等について協議 | 45名 | |
| 第1回研修会・部会 | 7月26日 | <p>研修会：演題：「埼玉県地域史料保存活用連絡協議会の取組と成果について」</p> <p>講師：埼玉県立文書館 学芸主幹 新井浩文 氏</p> <p>部会：部会長を選出。市町村の現用文書管理の現状、県の評価選別の取組を報告し今後の進め方等について協議。</p> | 40名 | |
| 第2回研修会・部会 | 8月30日 | <p>研修会：演題：「三豊市文書館における評価選別作業について</p> <p>－ 三豊市における評価選別・保存活用、電子決裁等の取組等 －」</p> <p>講師：香川県三豊市文書館 館長 宮田克成 氏</p> <p>部会：電子決裁、文書管理システムのメリット・デメリット、市町村の歴史公文書等の評価選別基準例作成に向けた考え方等について協議</p> | 29名 | |
| 第3回部会 | 11月14日 | 部会：「歴史公文書等の評価選別基準の標準例(市町村用)」(案)について協議 | 28名 | |
| 資料保存・修復研修会 | 12月19日 | <p>講演1 演題：「被災アーカイブズの救助・復旧技術の実際」</p> <p>講師：国文学研究資料館准教授青木睦氏</p> <p>講演2 演題：「被災した書籍の修復—中原中也『香典帳』ほか—」</p> <p>講師：修復士・修復工房 HATA Studio 経営 秦博志氏</p> <p>ワークショップ「被災資料の乾燥・洗浄プログラム体験」</p> <p>講師：青木睦 氏</p> | 50名 | |

○歴史公文書等保存条例制定記念シンポジウム（5月23日 参加者105名）

- ・特別講演「歴史的に重要な公文書・古文書の保存と利活用」

講師：早川和宏氏（東洋大学法学部教授・弁護士）

概要：講師は、公文書管理等を専門とする研究者で、「県立公文書館在り方検討会議」の座長であり、検討会議の概要や新条例の理念、歴史的に重要な資料の保存と利活用の重要性について講演。

- ・鼎談「残された戦時記録が語り出す」

鼎談者 早川和宏氏（同上）、豊見山和美氏（沖縄県公文書館アーキビスト）
喜多村理子氏（鳥取短期大学非常勤講師）

○巡回展「鳥取大地震・西部地震・中部地震―被災から復興への記録―」

- ・目的：平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震から1年が経つ機をとらえて、その被災の状況と復興の様子を、昭和18年に発生した鳥取大地震、平成12年に発生した鳥取県西部地震の被災と復興の状況と併せて写真パネル、公文書綴り、市町村広報誌などで紹介し、記録・保存の大切さと自然災害に対する理解と備えについて考えていただく機会とする。

- ・日程

| 会場 | 展示期間 | 入館者 |
|---------|---------------------|-----------|
| 公文書館 | 9月8日（金）～10月25日（水） | 1,116人 |
| 日野町公民館 | 9月22日（金）～10月9日（月） | 町立施設のため不明 |
| 米子市立図書館 | 9月28日（木）～10月8日（日） | 市立施設のため不明 |
| 倉吉市立図書館 | 10月12日（木）～10月24日（火） | 市立施設のため不明 |

- ・ギャラリートーク：

日野町公民館 10月3日（火）

倉吉市立図書館 10月14日（土）

○公文書館と図書館、博物館との連携

災害時等の県立公文書館、図書館、博物館等の市町村との連携・協力実施計画の策定（9月5日）

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

推進組織として県と県内全市町村による県市町村歴史公文書等保存活用共同会議を設立することにより、県内の歴史的に重要な文書等の保存活用の取組を県市町村が連携・協力して進められた。

ウ 成果及び効果

- ・歴史公文書等保存条例に基づく市町村と連携した鳥取県の取組については、国立公文書館情報誌への寄稿や全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会での発表等により、全国へ情報発信できた。
- ・シンポジウムにより新条例の理念や内容について周知を図られ、共同会議の部会・研修会などにより市町村職員の専門知識の向上や課題解決への取組が進んだ。

エ 課題

今後、「歴史公文書等の評価選別基準標準例(案)」を参考に各市町村が評価選別基準を作成し、実際に評価選別作業を実施していく上での、具体的な課題解決のための部会での検討や個別指導が必要である。

| 事業名 | 決算（見込）額 | 財 源 内 訳 | | |
|----------|---------|---------|-------|---------|
| | | 国庫支出金 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 公文書館普及事業 | 1,202 | | | 1,202 |

将来ビジョン

政策項目

（概 要）

ア 目的及び事業の実施状況

（ア）目的

県政に関する公文書等の情報に触れる機会を県民に提供することにより、公文書館や歴史公文書等の保存・利活用に対する県民の理解を深める。

（イ）事業の実施状況

| 区 分 | 会 期 | 内 容 | 入館者数 |
|--|--------------------------------|---|-----------------------------|
| 常設展 | — | 鳥取県の誕生から明治期にかけての資料、昭和20年代後半のカラー写真、鳥取市街を撮影した昭和40年頃の写真等を展示した。 | — |
| 企画展 「公文書館の仕事— 歴史資料として重要な 公文書等の保存と 活用—」 | 平成29年3月 14日（火）～ 5月21日（日） | 公文書館の概要や施設の紹介、公文書の収集・整理・保存、公文書の修復、公文書館の普及活動、新しい条例の概要、市町村との連携と協力、災害時の対応等について紹介した。 | 793人 (4月1日～595人) |
| 企画展 「鳥取大火の写真展」 | 平成29年4月 10日（月）～ 5月10日（水） | 公文書館が所蔵する鳥取大火に関する初公開写真を基に災害と復興の様子を紹介した。 | 図書館との共通通路にて実施のため 観覧者数は不明 |
| 企画展 「県政顧問が見た50 年前の鳥取県」 | 平成29年5月 23日（火）～ 6月25日（日） | 東京鳥取県人会の主要メンバーから選ばれた県政顧問（5名）が、当時の鳥取県をどう捉え、何を助言しようとしたのかを写真や公文書綴りなどで紹介するとともに、当時撮影された県内各所の写真を利用して、約半世紀前の鳥取県の様子を紹介した。 | 732人 |
| 企画展 「鳥取県ができるま で」 | 平成29年9月 8日（金）～9 月21日（木） | 明治4年の鳥取県の誕生から鳥根県への併合、再置、再置後の県政のあゆみ、その後の地域再編の動きについて紹介し、県民の日の趣旨である「県民がふるさとについての理解と関心を深める」ことへの一助とした。 | 共通通路にて実施 のため観覧者数は 不明 |

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

昭和40年に制度化された県政顧問制度と、同年に開催された全国植樹祭から半世紀が経つタイミングで当時の視点で県政顧問が鳥取県をどう捉えていたのか県内各所の写真も交えて振り返る企画展を開催した。

ウ 成果及び効果

- ・企画展については、新聞やテレビで、取り上げられ、来場者以外にも公文書館の取組を普及啓発できた。
- ・企画展「公文書館の仕事」で作成したパンフレットは、公文書館の役割・業務や、新たに制定された歴史公文書等保存条例を紹介する基礎資料として常設展でも普及啓発に活用できている。

エ 課題

例年に比べ、企画展示の本数は増えたが、来館者は伸び悩んでいる。来館者を増やすような話題作りや効果的な広報に工夫が必要である。

| 事業名 | 決算(見込)額 | 財 源 内 訳 | | |
|--|---------|---------|-------|---------|
| | | 国庫支出金 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 歴史資料保存事業 | 5,075 | | 11 | 5,064 |
| 将来ビジョン | | | | |
| 政策項目 | | | | |
| <p>(概 要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目 的 貴重資料の修復及び電子化・複製化を行い、長期保存を図ると共に県民への提供を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真アルバム『15号台風災害現場写真(昭和34年)』を修復した。 ・ 写真フィルム(3719コマ)を電子化すると共に紙焼き等を行った。 ・ 明治・大正期を中心とする紙資料(28点)を修復した。 ・ 島根県庁等から複製収集した鳥取県関係(島根県併合時代)資料等を複製本(50冊)にした。 ・ 地下書庫の温湿度管理、害虫の侵入を防ぐための処置を行った。 <p>イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果及び効果 申請の多い写真類を整理・電子化することで、未公開だったものが円滑に提供できる体制が整ってきた。</p> <p>エ 課 題 電子化の終了した写真類の整理・目録化の進捗が遅れ気味である。この解消のために、次年度はボランティアを募っての写真整理事業を検討したい。</p> | | | | |

| 事業名 | 決算(見込)額 | 財源内訳 | | |
|-----------|---------|-------|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | その他 | 一般財源 |
| 公文書収集整理事業 | 6,740 | | 42 | 6,698 |

鳥取元気プロジェクト

元気づくり総合戦略

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

「鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例」及び「鳥取県公文書等の管理に関する条例」に定める手続に則り、知事部局をはじめとした実施機関の歴史的公文書等を引き継ぎ、保存し、利用請求に応じる。

(イ) 事業の実施状況

① 簿冊(公文書綴)の引継ぎ

平成28年度末で保存期間が満了となった公文書(簿冊)について鳥取県立公文書館歴史公文書等選別方針に照らして評価選別の上引継ぎを行い、排架した。

(平成29年12月末時点)

| 実施機関 | 保存期間満了簿冊 | 引継簿冊 | 実施機関 | 保存期間満了簿冊 | 引継簿冊 |
|--------|----------|------|-----------|----------|------|
| 本庁 | 6,746件 | 322件 | 人事委員会 | 149件 | 3件 |
| 地方機関 | 12,474件 | 12件 | 選挙管理委員会 | 45件 | 0件 |
| 知事部局計 | 19,220件 | 334件 | 海区漁業調整委員会 | 2件 | 0件 |
| 企業局 | 53件 | 0件 | 中央病院 | 179件 | 0件 |
| 教育委員会計 | 7,823件 | 72件 | 鳥取環境大学 | 9件 | 0件 |
| 警察本部 | 3,498件 | 0件 | 合計 | 30,978件 | 409件 |

② 行政資料の収集・管理

実施機関等が発行又は取得した行政資料を収集し、行政資料検索システムに登録・管理の上、利用に供した。統計資料も含めた平成29年12月末時点の収集冊数は803冊、累計所蔵冊数は59,572冊である。

③ 利用提供(レファレンス)

◎ 県民等の利用請求に応じ、特定歴史公文書等(公文書館に引き継がれた歴史公文書等)について利用提供を行った。

(平成29年12月末時点)

| 区分 | 請求者数 | 請求件数 | 利用決定区分件数 | | | 不服申立件数 |
|-----------------------|---------------|----------------|----------------|------------|-----------|-----------|
| | | | 全部利用 | 部分利用 | 利用制限 | |
| 引継公文書 ()は県職員分を別掲 | 31人 (190人) | 219件 (484件) | 198件 (484件) | 21件 (-) | 0件 (-) | 0件 (-) |
| 寄贈寄託資料 ()は県職員分を別掲 | 30人 (0人) | 282件 (0件) | 282件 (-) | 0件 (-) | 0件 (-) | 0件 (-) |
| 計 | 61人 (190人) | 501件 (484件) | 480件 (484件) | 21件 (-) | 0件 (-) | 0件 (-) |

◎ 県民等の利用請求に応じ、行政資料等について閲覧等のサービスを行った。

平成29年12月末時点の請求者数は63人、請求件数は273件であった。

また、それ以外に県職員の請求者数は22人、請求件数は67件であった。

④ 文書管理主任研修会（政策法務課主催の研修会に講師として派遣）

期 日 平成29年8月21日(月)、24日(木)、31日(木)

会 場 鳥取県庁（31日）、西部総合事務所（21日）、中部総合事務所（24日）

参加者 173名（実施機関の文書管理主任等）

内 容 公文書館の業務／評価選別の実務／不適切な事例／簿冊名の公表・検索のお知らせ／行政刊行物送付のお願い

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

専門評価員を新たに1名増員し、鳥取県公文書等の管理に関する条例制定以前に「永年保存文書」として公文書館へ引き継がれた公文書の再選別にとりかかった。

ウ 成果及び効果

知事部局本庁と知事部局地方機関及び知事部局以外の機関の選別作業を班ごとに分担し、2班4人体制で行うことにより選別作業の迅速化と作業精度の向上が図られた。

エ 課 題

鳥取県公文書等の管理に関する条例が制定されて約5年が経過し、各実施機関から保存期間満了後の措置（歴史公文書等として引継ぎ・廃棄する等）について理解が得られるようになってきたが、適切に実施してもらうためには、職員一人ひとりに歴史公文書等の評価選別基準についての理解を深めてもらう必要がある。

廃棄予定簿冊を公表し、廃棄協議の上で引継ぎまたは廃棄するという文書のライフサイクルに基づく手続きの遵守のため、今後とも職員等に対する研修を実施していく必要がある。

| 事業名 | 決算(見込)額 | 財源内訳 | | |
|---|---------|-------|-----|-------|
| | | 国庫支出金 | その他 | 一般財源 |
| 歴史公文書等の保存活用に係る市町村との連携事業 | 2,140 | | | 2,140 |
| 鳥取元気プロジェクト | | | | |
| 元気づくり総合戦略 | | | | |
| <p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 災害時に県と市町村が協力して、的確な文書の救援活動を行うため、救援に必要な資機材の備蓄と救援対象となる重要文書の所在情報について調査を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時文書救出必要資機材の備蓄 災害が発生した際に、重要な歴史文書を一時避難させ、一定期間保護・保管するための資機材を購入し備蓄した。 [購入物品] 中性紙箱、真空圧縮袋、無水エタノール、運搬用折りたたみコンテナ等 ・地域歴史資料所在調査 鳥取県内に残る民間の古文書等歴史資料について、市町村等と協力しながら、所在情報の収集を行い、重要文書や未調査の文書について調査員による現地調査を行った。 <p>イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 資料保存・修復研修会で、県・市町村の関係機関の職員に資料救出の実技体験をしてもらうとともに、公文書館で災害時の資料救出用資材を備蓄していることを周知した。</p> <p>ウ 成果及び効果 これまで整備していなかった災害時文書救出必要資機材の備蓄を行うとともに、市町村と協力し、これまで把握できていなかった歴史資料の現地調査が進んだ。</p> <p>エ 課題 県内の把握できていない未調査資料は多く存在し、引き続き調査を行っていくことが必要。</p> | | | | |

| 業 名 | 決算(見込)額 | 財 源 内 訳 | | |
|------------|---------|---------|-------|---------|
| | | 国庫支出金 | そ の 他 | 一 般 財 源 |
| 新鳥取県史編さん事業 | 37,129 | | 2,046 | 35,083 |

将来ビジョン

政策項目

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

旧『鳥取県史』刊行後に新たな発見や研究の進展のあった事項や、旧県史で十分に取上げていない事項を調査・研究し、貴重な歴史・民俗資料を県民共有の財産として後世に伝えとともに、その成果を新鳥取県史「資料編」「ブックレット」の刊行や講演会等を通じて提供することで、郷土に対する県民の理解と愛着を深める。

(イ) 事業の実施状況

①新鳥取県史編さん委員会、専門部会の開催

- ・編さん委員会(8名、うち外部委員6名)…編さん方針、編さん計画、資料編刊行後の取り組みの審議(3回)
- ・専門部会(31名、うち外部委員24名)…時代・分野ごとの編さん内容の審議(延べ12回)

②資料調査・整理・原稿作成等

「資料編」に収録する歴史的に重要な資料の調査、専門家への原稿執筆依頼

- ・考古部会 県内主要古墳の測量、資料編・ブックレットの原稿及び図面等の作成・校訂・校正等
- ・古代中世部会 県史で調査・撮影した資料の整理、公開許諾事務等
- ・近世部会 県内関係資料の調査、資料編の原稿作成・校訂・校正等
- ・近代部会 県内関係資料の調査、資料編の原稿作成・校訂・校正等
- ・現代部会 県内関係資料の調査、資料編の原稿作成等
- ・民俗部会 県内民具資料の調査、撮影、原稿作成等

③「資料編」の刊行・頒布

県内の主要な歴史・民俗資料を掲載する「資料編」を刊行した。

- ・刊行5冊
考古部会『飛鳥・奈良時代以降』、近世部会『因幡編(上)』『因幡編(下)』、近代部会『行政2・社会・宗教』『産業・教育・文化』
- ・頒布 公文書館・県庁県民課・各総合事務所・一般書店での販売、メール申込み等による郵送

④「ブックレット」の刊行・頒布

県史編さん事業の調査・研究の成果をわかりやすく県民に紹介する「ブックレット」を刊行した。

- ・刊行1冊
鳥取県史ブックレット19「森と生きた人々―鳥取県の遺跡から―」
- ・頒布 公文書館・県庁県民課・各総合事務所・一般書店での販売、メール申込等による郵送

⑤新鳥取県史講演会・講座の開催

調査研究の成果を県民にわかりやすく提供するため県内各地で講座を開催した。

| 期日 | 会場 | テーマ | 参加数 |
|------|----------|----------------------|------|
| 7/1~ | 鳥取市歴史博物館 | 占領期の鳥取を学ぶ会(連続講座) | 延300 |
| 9/9 | 米子市立図書館 | 米軍記録と役場文書から読み解く郷土の戦争 | 60 |
| 12/3 | 鳥取県立博物館 | 古記録で読み解く古代中世の鳥取 | 110 |
| 1/27 | 鳥取市歴史博物館 | 鳥取招魂社の成立 | 30 |

⑥「県史だより」の発行

資料調査や研究活動に関する様々なトピックをホームページ上で紹介するとともに、県内各図書館で閲覧できるよう配布した。計12回発行。

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

古墳測量について、県埋蔵文化財センターと連携し、従来の地上での測量から新技術を活用した航空レーザー測量に変更することで、測量前の地権者交渉等にかかる業務負担の軽減や測量にかかる経費節減を図った。

ウ 成果及び効果

これまでで最多となる資料編5冊を刊行することができた。

古墳測量について、県埋蔵文化財センターと連携し、新技術を活用した測量を導入したことで、業務負担の軽減や経費の節減を実現することができ、当初1基の予定であった測量を予算内で3基実施することができた。

資料編の内容を読み解く講演会を県立博物館や鳥取市歴史博物館等と連携して3回開催した。毎回30～110名という多くの参加者に来場いただき、かなり好評であった。また連続講座の「占領期の鳥取を学ぶ会」では、会員となった県民（約20名）の協力を得ながら進駐軍の英文資料の解説を進め、これまで不明な点の多かった占領期の状況が明らかになってきた。

エ 課題

刊行計画の最終年度（平成31年度）に向けて資料編の刊行が本格化し、各部会とも調査・整理・編集に要する業務量が増加している。作業の効率化や外部委員との連携等を図りながら、予定している資料編の着実な刊行を進めていく必要がある。

また、資料編刊行の終了を控え、調査で得られた資料の適切な整理・保存と公開に向けての準備を進めるとともに、資料編刊行後に取組が必要な内容や体制等について早急に検討を進める必要がある。

古墳測量については、墳丘測量が必要な古墳が4基あり、来年度も引き続き県埋蔵文化財センターと連携して航空レーザー測量にて実施していく予定である。

7 収入証紙取扱額調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料

(平成29年12月31日現在)
(単位:円)

| 収入科目 | | | 件数 | 調定金額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 根拠法令名等 | 備考 |
|-------------|-------------|----|----|--------|--------|-------|-------|--------|----|
| 目 | 節 | 細節 | | | | | | | |
| 行政財産 使用料 | 行政財産 使用料 | | 1 | 65,584 | 65,584 | 0 | 0 | | |
| | 計(節) | | 1 | 65,584 | 65,584 | 0 | 0 | | |
| 目計 | | | 1 | 65,584 | 65,584 | 0 | 0 | | |
| 合計 | | | 1 | 65,584 | 65,584 | 0 | 0 | | |

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入

(平成29年12月31日現在)
(単位:円)

| 収入科目 | | | 件数 | 調定金額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 根拠法令名等 | 備考 |
|----------------|----------------|-----------------|-----|-----------|-----------|-------|-------|-------------------------------|----|
| 目 | 節 | 細節 | | | | | | | |
| 物品 売払 収入 | 物品 売払 収入 | 刊行物 売払 収入 | 133 | 1,319,960 | 1,319,960 | 0 | 0 | ・鳥取県物品事務 取扱規則 ・県刊行物作成要領 | |
| | 計(節) | | 133 | 1,319,960 | 1,319,960 | 0 | 0 | | |
| 目計 | | | 133 | 1,319,960 | 1,319,960 | 0 | 0 | | |
| 合計 | | | 133 | 1,319,960 | 1,319,960 | 0 | 0 | | |

(5) 諸収入

(平成29年12月31日現在)
(単位:円)

| 収入科目 | | | 件数 | 調定金額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 根拠法令名等 | 備考 |
|------|----|------------------------|-----|--------|--------|-------|-------|--------|----|
| 目 | 節 | 細節 | | | | | | | |
| 雑入 | 雑入 | 情報提 供複写 料金 | 43 | 11,814 | 11,814 | 0 | 0 | | |
| | | 複写物 及び刊 行物送 料 | 60 | 42,376 | 42,376 | 0 | 0 | | |
| 目計 | | | 103 | 54,190 | 54,190 | 0 | 0 | | |
| 合計 | | | 103 | 54,190 | 54,190 | 0 | 0 | | |

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成29年12月31日現在)

(単位:円)

| 収入科目(節) | 収入済額(円) | 件数(件) | 備考 |
|---------|---------|-------|------------------|
| 物品売払収入 | 470,260 | 86 | 刊行物代金(86件) |
| 雑入 | 9,628 | 58 | 複写代金、刊行物等送料(58件) |
| 合計 | 479,888 | 144 | |

イ 釣り銭の状況

(平成29年12月31日)

| 釣り銭の有無 | 有 | 釣り銭の額(円) | 30,000 |
|--------|---|----------|--------|
| | | | |

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(平成29年12月31日現在)

(1) 負担金

(単位:円)

| 予算科目(目) | 予算令達額 | 負担金の名称 | 支出先 | 負担率 | 支出年月日 | 支出金額 | 支出の根拠法令名等(規約、要綱等を含む) | 備考 |
|---------|-------|--------|-----|-----|-------|--------|----------------------|------------------|
| 公文書館費 | | | | | | | | |
| 新規以外のもの | | | | | | 40,000 | | 文書ID 17-00092436 |
| 目計 | | | | | | 40,000 | | |
| 合計 | | | | | | 40,000 | | |

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4)委託料

(平成29年12月31日)(単位:円)

| 予算科目 (目) | 国単別の別 | 委託料の名称 | 委託契約の相手方 | 当初契約 | | | 入札等年月日 (契約保証金 納付等年月 日) | 完了年月日 | 支出の状況 | | | 備考 |
|-------------------------|-------|--------------------------------|--------------------------------|------------|-------------------------|----------------------|---------------------------------|----------|-------|-----------|---------------------|----|
| | | | | 予定価格 | (契約年月日) 契約額 | 契約期間 | | | 支区分 | 支出年月日 | 金額 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | 単県 | 鳥取市内所在古墳 航空レーザ測量業 務 | 株式会社バスコ | 6,339,600円 | (29.10.6) 3,024,000円 | 29.10.6~ 30.3.20 | 29.10.3 (免除) | | 精 | | 文書ID 17-00156043 | |
| | 単県 | 企画展に係る展示 物の作成等業務 (地震巡回展) | 株式会社ティエス ピー | 983,000 | (29.8.21) 683,316 | 29.8.21 ~29.10.26 | 29.8.21 (免除) | 29.10.26 | 精 | 683,316 | 文書ID 17-00116972 | |
| 公文書館費 | 単県 | 写真フィルムの電 子化及び紙焼き業 務 | 株式会社堀内カ ラーカーカイブサ ポートセンター | 652,884 | (29.12.25) 652,884 | 29.12.25 ~30.3.28 | 29.12.25 (免除) | | 精 | | 文書ID 17-00221844 | |
| | 単県 | 企画展に係る展示 物の作成等業務 | 株式会社ティエス ピー | 413,000 | (29.4.28) 336,636 | 29.4.28 ~29.6.26 | 29.4.28 (免除) | 29.6.26 | 精 | 336,636 | 文書ID 17-00023596 | |
| | 単県 | 写真フィルムの電 子化及び紙焼き業 務 | 有限会社高橋カメ ラ店 | 992,175 | (29.12.5) 253,146 | 29.12.5 ~30.3.23 | 29.12.5 (免除) | | 精 | | 文書ID 17-00204807 | |
| 上記の外、契約額が 250万円未満のもの | | | | | | | | | | 68,781 | | |
| 目計 | | | | | | | | | | 1,088,733 | | |
| 合計 | | | | | | | | | | 1,088,733 | | |

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

(平成29年12月31日現在)

| 行政・普通財産の区分 | 施設名等 | 所在地 | 前年度末 | | 本年度異動状況 | | | | | | 本年度末 | | 備考 |
|------------|------|-----------|---------------------|-------------|---------|-----|---------------------|-------|------|-------|---------------------|-------------|----|
| | | | 面積(m ²) | 価額(円) | 増減別 | 異動日 | 面積(m ²) | 価額(円) | 増減理由 | 登記年月日 | 面積(m ²) | 価額(円) | |
| 行政財産 | 公文書館 | 鳥取市尚徳町101 | 1,727.84 | 403,518,220 | 増加 | H | | | | H | 1,727.84 | 403,518,220 | |
| | | | | | 減少 | H | | | | H | | | |
| 計 | | | 1,727.84 | 403,518,220 | | | 0 | 0 | | | 1,727.84 | 403,518,220 | |
| 普通財産 | | | | | 増加 | H | | | | H | 0.00 | 0 | |
| | | | | | 減少 | H | | | | H | | | |
| 計 | | | 0.00 | 0 | | | 0 | 0 | | | 0.00 | 0 | |
| 合計 | | | 1,727.84 | 403,518,220 | | | 0 | 0 | | | 1,727.84 | 403,518,220 | |

ウ 山林

該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成29年12月31日現在)

| 種 別 | 前年度末 | 本 年 度 中 | | 差 引 | 備 考 |
|--------------|--------|---------|---------|--------|-----|
| | | 受入額 | 払出額 | | |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | |
| 郵便切手及び郵便はがき | 63,667 | 137,684 | 159,395 | 41,956 | |
| 収入印紙 | | | | 0 | |
| 収入証紙 | | | | 0 | |
| タクシークーポン券 | | | | 0 | |
| 鉄道バスプリペイドカード | | | | 0 | |
| 合 計 | 63,667 | 137,684 | 159,395 | 41,956 | |

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成30年2月1日現在)

| 行政・普通財産の区分 | 貸付(使用許可)目的 | 所在地 | 数量又は面積 | 貸付(使用許可)年月日 | 当初貸付(使用許可)年月日 | 貸付(使用許可)期間 | 貸付(使用)料(円) | | 貸付(使用許可)先 | | 備考 |
|------------|------------|-----------|--------|-------------|---------------|-----------------------|------------|-------------|------------------------------------|----|----|
| | | | | | | | 単価 | 本年度の貸付(使用)料 | 住氏 | 所名 | |
| 行政財産 | 太陽光発電事業 | 鳥取市尚徳町101 | 405㎡ | H29.2.13 | H29.2.13 | H29.2.13~ H49.1.31 | 月額・年額 | 65,584 | 鳥取市永楽温泉町505-406 株式会社市民エネルギーとつとり | | |
| 計 | | | | | | | | | | | |
| 普通財産 | - | - | - | - | - | - | 月額・年額 | - | - | | |
| 計 | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | |

イ 建物
該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

18 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

19 備品の処分状況調べ

該当なし

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1)現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2)物品の照合

| 照合年月日 | 現物確認できなかった物品 | 現物が確認できなかった物品名 | 個 数 |
|-------------------------------|--------------|----------------|-----|
| 平成29年7月13日 ～ 平成29年8月22日 | ・ 有 ・ 無 | | |
| | | | |
| | | | |

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし